

消化管疾患における NST の役割

司会 国立国際医療センター国府台病院 松枝 啓
東北大学大学院生体調節外科学分野 佐々木 巖

患者の予後を左右する最も重要な因子は、患者の栄養状態であることは多くの臨床的データが示唆しており異論の無いところであろう。この栄養状態に大きな影響を与えるのが消化器疾患であり、その治療成績を向上させるためには栄養管理および栄養療法の導入が不可欠である。しかし、消化吸収障害を伴う消化管疾患においては、経腸栄養療法を施行する際には消化器疾患の病態に適合したダイエットの選択や種々の工夫が必要となり、経静脈栄養療法を選択する際には消化管の絨毛委縮や Bacterial translocation の予防が問題となる。これらの問題点を解決して、より合理的な栄養療法を実践するためには NST の結成が不可欠である。今回の栄養管理フォーラムでは、この「消化器疾患における NST の役割」を中心に、我国における NST の運営上の工夫、成果そして問題点について討論し、「より良い栄養療法の実践」に対する方向性を模索したいと考えている。多くの施設からの意欲的な発表をお願いしたい。